

## 事例発表1

社会福祉法人 樺会  
旭台病院  
看護主任 石井 奈緒美 様  
介護主任 市川 貴幸 様



**【快適な排泄ケア向上を目指して  
～ 患者様に笑顔を ～】**

- ①患者様の安楽・安眠のサポート②できないことを可能にできるようチャレンジしたい③プロとして患者様の尊厳を考えられるようマイスターを手段とし、ケアワーカーのモチベーションアップを目的にTENA導入を検討。
- 導入前にCST発足のためメンバー選出と勉強会を実施し、全看護職員のTENAマイスター取得。
- 患者の尿測平均データからアセスメントと話し合いを繰り返し、定着したと思ったのはつかの間で①CSTメンバーとスタッフの意識の違い②漏れの繰り返しによるスリップ使用患者の増加するなど問題が発生し、「アセスメント→評価」をしないスタッフが増える・という悪循環が続いた。
- このままではまずいと考え、再度勉強会の実施やフィッティング再試験を行い、現在も職員の意識改革に向け進めている。
- 今後は職員の意識の維持しながら、患者様や御家族様、地域住民の皆様への介護教室の検討を行っている。